

みんなの文芸



俳句

うらほろ俳句会

咲き残る野菊に蜂の羽音止む

井下まさの

寄せる風去る風黍の実が満つる

大山みどり

火を焚けば猫いそいそと寄つて来る

黒田ちえ子

朝もやの白露煌めく道すがら

佐藤 ナル

蒼空の涯を指して岳並ぶ

菅谷 日月

コスモスの色さまざまに厨口

福原 仁子

川柳

浦幌川柳会

太陽が作業急げと隠れん坊

阿部 優仙

愚痴ひとつ聞いて下されお月さま

加藤 未貴

晩秋に肩の荷小さく緩ませて

阿部 麗紅

暑すぎよもう勘弁をしておくれ

橋本 葉子

うがい薬買いしめてまで出掛けたい？

大山 颯

川柳

上浦幌句の会

猛烈の炎暑の中で小麦刈り

笹島カヨ子

小麦畑カラスの群が押しよせる

加藤 明敏

おはぎの日食べそこなつたコロナ菌

芳川 乙美

デイサービス笑いの種をつめ込んで

くわ買って初めて掘る芋ああ楽し

サンマ焼く台所に猫集まり

加藤 明敏



編集後記

■新型コロナウイルスの関係で町内の各行事ができない中で保育園や幼稚園、小学校及び中学校で運動会に代わる行事や文化祭が9、10月に集中して実施された。

8月に広報担当職員の研修で一眼レフカメラの使い方をプロに教わってきたがなかなか、それを発揮する場がなくなってしまうところだったので、大変ありがたく、また天候や室内の照明によりカメラの細かい調整を確認するのがなかなか楽しかった。

まるで、子どもが遠足なごの前の日に楽しみで眠れなくなるような、そんな感覚に近かったのではないだろうか。

(〇泉)

■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡ください。